

COMPANY PROFILE

株式会社 生活クラブエナジー



株式会社 生活クラブエナジー
Seikatsu Club Energy Co.

ごあいさつ

1986年4月26日に起こったチェルノブイリ原発事故による放射能は、8000キロも離れた日本にも降り、私たちのお茶から放射能が検出されました。この時から生活クラブ生協の脱原発運動はスタートしました。この事故から25年たった2011年3月11日に東日本大震災・福島原発事故が起こりました。チェルノブイリでは、30年たっても未だに溶け出した核燃料が手つかずのまま残っており、廃炉計画もすすんでいません。そして、周辺諸国でも甲状腺がんを含む様々な病気の増加が報告され、健康不安が続いています。福島原発では、メルトダウンした核燃料が未だにどこにあるのかさえもわからない状況であり、汚染水漏れ、中間処理施設の場所もなく、事故は収束されていない状況が続いています。原発は人間がコントロールできないことがはっきりしました。こうした巨大システムに依存しないことが何よりも大切なことではないでしょうか。

世界のエネルギーの潮流はすでに自然エネルギーにシフトしています。分散型で人間がコントロールできます。コントロールできるということは自治できるということです。2015年に世界で新設された電源の6割以上が自然エネルギーであると言われています。自然エネルギーのシェアも高まっています。分散型のエネルギーなので地域のエネルギーとして地域社会づくりにつながってきています。また自然エネルギーはCO2を排出しません。そして自然エネルギーによる発電が広がることで、その分、化石燃料による発電を減らすことも出来る最も有効な地球温暖化対策です。私たち(株)生活クラブエナジーは、全国に23あるそれぞれの生活クラブ生協と生活クラブ連合会、一部の生活クラブ消費材を生産する生産者からの出資により2014年10月に設立しました。



代表取締役社長
半澤 彰浩

生活クラブグループの共通政策として決定した総合エネルギー政策の基本である「エネルギーを減らす」「自然エネルギーをつくる」「エネルギーを選択して使う」にもとづき、自分たちに必要なエネルギーを自分たちでつくり、使い、自治していくことを実現していく会社として事業をすすめていきます。

自然エネルギーを中心とした電気の供給と地域に資する自然エネルギー事業の開発・推進、そして省エネをすすめる電力会社として事業をすすめ、脱原発の実態化を生活クラブ生協とともにすすめていきます。地球と自然は未来の子どもたちから預かっているものです。子どもたちの未来のために自然エネルギー中心の持続可能な未来社会を共につくっていきましょう。

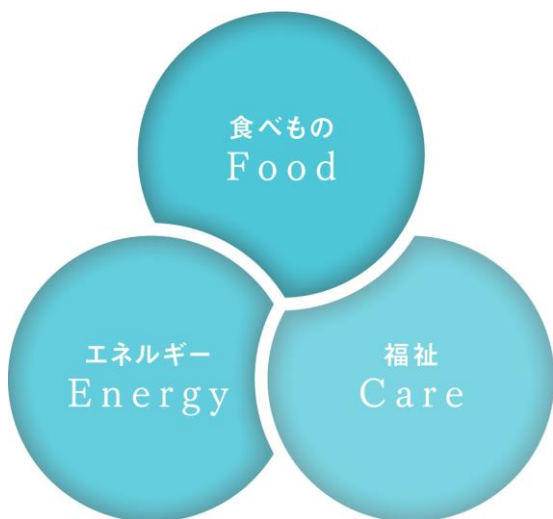
■会社概要

会社名	株式会社生活クラブエナジー
設立年月日	2014年10月20日
所在地	新宿区新宿6-24-20(登記上の本店) 中央区日本橋人形町1-6-9 人形町大内ビル3F(本社)
TEL	03-5643-0370
役員	<代表取締役> 半澤彰浩 <取締役> 林洋一、大石冬刀、須長雅和、片桐浩章、 加藤貴弘、二川 悟、石川雅可年、 <監査役> 村上彰一、渡部孝之
資本金	6,475万円
主要株主	当社は生活クラブグループです。 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会、 生活クラブ生活協同組合(23単協)他
事業高	約17.1億円(2017年度)
電力供給	約54.6MWh(2017年度)
事業内容	1. 省エネルギーの推進・啓発事業 2. 電力供給事業 3. 自然エネルギーによる電源開発事業 4. 自然エネルギーファンド事業 その他
設立理念	●脱原発・自然エネルギー社会づくりにむけて、地域分散型の再生可能エネルギーを広げ、市民によるエネルギーの自治をすすめ、持続可能な未来をつくります。 ●電力システム改革による家庭までの電力自由化を射程に、市民が自分たちで使うエネルギーを選択し、参加できる社会をつくります。 ●電力事業に参入することで、電力の価格や仕組みを明らかにし、情報開示・透明性を確保し、素性確かな電気を手に入れる市民による電力の共同購入運動をすすめます。 ●省エネをすすめ、エネルギー消費を少なくして豊かに暮らせる地域社会をつくります。 ●生活クラブ運動グループや市民団体など、自然エネルギーでつながるネットワークを広げ脱原発をすすめます。 ●エネルギー政策に対して実践を通じて異議申し立てをおこなうとともに電力の独占体制に風穴を開けます。 ●エネルギーの産地提携により食とエネルギーの地域間連携をすすめます。
主な電源構成 (2017年度実績)	太陽光発電(FIT)6,177kW、風力発電(FIT)7,490kW、 バイオマス発電(FIT)55,500kW、小水力発電180kW 全国45ヶ所
電力供給中	・東京電力管内の64拠点(生活クラブ事業所および関連施設) ・北海道、東北、中部、関西電力管内の13拠点



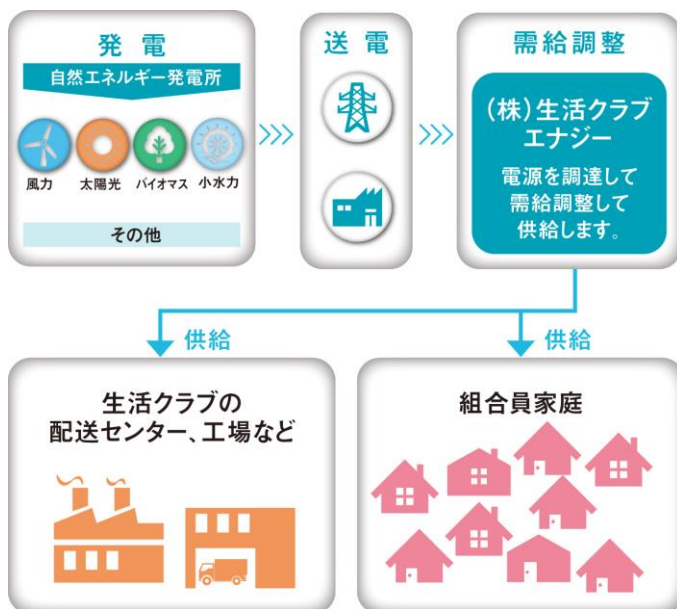
生活クラブが電気を共同購入する理由

生活クラブは、原材料や生産方法が明らかな「食べもの (Food)」を手にするために食材の共同購入をはじめました。また、地域に根ざした「福祉 (Care)」が必要と考え、組合員どうしのたすけあいや子育て、介護の支援活動を行っています。そして新たに「エネルギー (Energy)」を自給する暮らしと地域づくりをめざして、電気の共同購入をはじめます。



■生活クラブの自然エネルギー※1がご家庭に届きます

生活クラブの電気は近い将来、自然エネルギー100%をめざしています。あなたも生活クラブの電気の共同購入に参加し、みんなの買うチカラを集めることで自然エネルギーを広めて、原発のない未来を子どもたちに手渡ししましょう。



※1 当社が調達する電気の一部はFIT電気となります。FIT電気の調達費用の一部は当社のお客様以外の方も含め、電気をご利用の全ての皆様から集めた賦課金により賄われており、この電気のCO2排出量については、火力発電なども含めた全国平均の電気のCO2排出量を持った電気として扱われます。

■「生活クラブでんき」3つの特長



共同購入する電気は、自然エネルギーの割合が高い電気です。その割合は30～60%と既存の電力会社のエリアごとに異なりますが、太陽光や風力など電源構成の実績を毎月の電気料金明細書で明らかにしていきます。※1



任意で「生活クラブ自然エネルギー基金」に参加できます。参加の場合は毎月の電気料金の5%を基金に上乗せして寄付します。寄付されたお金は自然エネルギーの開発や省エネルギー活動などに活用します。



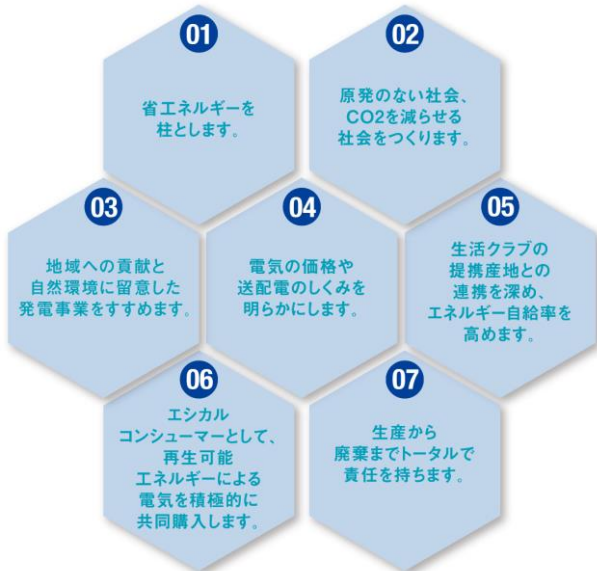
電気料金は、使用量に応じて単価が3段階に変わる制度を採用し、取り組む中でコストを明らかにします。契約メニューも契約者である組合員ともにつくります。

エネルギー7原則

わたしたちは、人類の共通資産である化石資源を大量に消費することで、産業革命以前の人々とは比べようのないほど膨大なエネルギーを獲得し、いまの豊かな暮らしを実現しています。

このような暮らしは持続可能(=サステイナブル)ではありません。3、11は、これらのことに改めて気づかせてくれました。わたしたちは、限りある資源を未来の子どもたちと分かち合わなければなりません。そして、「もったいない」という気持ちを大切に作る暮らし、「足るを知る」という節度ある暮らしに立ち返りたいと思います。

生活クラブは、省エネルギーをすすめながら再生可能な自然エネルギーによる電気の普及に取り組み、一日でも早く原発に依存しなくてよい社会を構築することを決意して、ここに「生活クラブのエネルギー7原則」を定めます。



01 > 省エネルギーを柱とします。
エネルギーを大量生産・大量消費する"ムダつかいの社会"から、省エネルギーを柱とした"持続可能(=サステイナブル)な社会"への転換をはかります。

02 > 原発のない社会、CO2を減らせる社会をつくります。
省エネルギーをすすめながら、再生可能な自然エネルギーによる発電事業に取り組み、原発のない社会、CO2を減らせる社会の構築をめざします。

03 > 地域への貢献と自然環境に留意した発電事業をすすめます。
再生可能エネルギーによる発電事業を行うにあたっては、発電施設や機器を設置する地域への貢献に努めるとともに、自然環境への影響に留意してすすめます。

04 > 電気の価格や送配電のしくみを明らかにします。
発電事業を通じて、これまで電力会社による地域独占というブラックボックスに隠されていた電気の価格や送配電等のしくみを明らかにします。

05 > 生活クラブの提携産地との連携を深め、エネルギー自給率を高めます。
産地との連携をすすめ、食べもの(Food)に加えて、再生可能なエネルギー(Energy)を介した生産者との連携を深めます。

06 > エシカルコンシューマーとして、再生可能エネルギーによる電気を積極的に共同購入します。
エシカルコンシューマー(*)として、提携生産者や協力事業者が再生可能エネルギーでつくった電気については、適正価格で積極的に共同購入します。
(*)エシカルコンシューマーとは、「環境や社会に配慮した商品・サービスを選択し、購入・利用などの消費行動を通じて、社会的な課題の解決に寄与していこうという意識を持った消費者」のことで、エコロジーやグリーンなどをさらにすすめた「倫理的・道徳的な消費活動」に取り組む人々をいいます。

07 > 生産から廃棄までトータルで責任を持ちます。
使い終わった発電機器を廃棄するときは、できるだけリサイクルします。処分しなければならない場合でも、最新の情報に基づいて責任を持って適正に処分します。

(備考)家庭で使われるエネルギーのおよそ6割は熱エネルギーですが、コージェネレーション(熱電供給)の導入拡大など熱エネルギーの自給については今後の課題とします。2017年頃を目安に検討し、必要があれば「生活クラブのエネルギー原則」に加えることを想定します。

生活クラブの自然エネルギー発電所

生活クラブは、暮らしに必要な食料は私たちの力量の範囲で自治していくことを基本に共同購入運動をすすめてきました。さらに、共済や介護や子育てなど福祉サービスを自ら生み出し、地域福祉の自治をすすめてきました。食料・福祉と同様に、エネルギーも暮らしに欠かせません。生活クラブでは、配送センター・店舗などに太陽光発電の施設を建設するとともに、風力、小水力、バイオマス等のベース電源を開発し、電気の共同購入を通じて、エネルギーの自治をすすめます。

■生活クラブの自然エネルギー発電



[風力発電]

風力発電は、風の運動エネルギーで風車を回して発電します。風力の長所は、発電時にCO2などを出さないクリーンな自然エネルギーという点です。風という自然の力を利用するため電力の出力調整が困難なことや、設備の設置場所が限られるなどの短所を、他の発電方式でうまく補って活用していくことが大切です。



[太陽光発電]

太陽の光エネルギーを太陽光パネルを用いて電力に変換する、再生可能な自然エネルギーとして風力発電と並ぶ代表的な発電方式です。近年は発電コストの低減化が進んで一般家庭にも普及し身近となってきています。発電量は日照に左右されますが、昼間の電力需要ピークを緩和しCO2排出量を削減できるメリットがあります。



[バイオマス発電]

「バイオマス」とは、動物・植物などを由来とする生物資源の総称です。間伐材や建築廃材などを燃焼し、発生する熱を利用して発電します。原理は火力発電と同じですが、作られるまでに長い年月を要する石油・石炭などを有機性資源に置き換えることで再生可能な自然エネルギーとして注目されています。



[小水力発電]

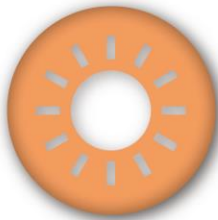
水資源の豊富な日本において、水力発電は古くから利用されてきた再生可能エネルギーです。その中でも小規模な発電設備である小水力発電は環境に与える影響が少なく、小さな川や用水路でも発電でき、比較的安定した発電量の確保が可能であるため、自然エネルギー源として期待が持たれています。



種別	発電所名	発電容量(kW)
北海道		
太陽光	生活クラブ北海道 生活クラブ館	11
風力	厚田市民風力発電所「厚福丸」・「あい風未来」	4,000
岩手県		
太陽光	一関市民なのはなソーラー発電所2号・3号(2ヶ所)	22
秋田県		
風力	生活クラブ風車「夢風」(首都圏4単協)	1,990
山形県		
太陽光	西野発電所(田んぼソーラー)	30
	四ツ屋新田発電所(ワラビソーラー)	50
福島県		
	会津電力 越前太陽光発電所	1,000
太陽光	飯館電力 伊丹沢太陽光発電所	58
	飯館電力 前田佐藤富農型太陽光発電所	76
栃木県		
	生活クラブ栃木 宇都宮センター発電所	36
太陽光	新生酪農(株)栃木工場発電所	94
	生活クラブソーラー栃木発電所	1,806
茨城県		
太陽光	生活クラブ茨城 取手センター発電所	31
群馬県		
太陽光	生活クラブ群馬発電所	1,485
東京都		
	生活クラブソーラー多摩統合センター発電所	98
	生活クラブソーラー八幡山発電所	31
	生活クラブソーラーデポー真村山発電所	28
	生活クラブソーラー大田センター発電所	61
太陽光	生活クラブソーラー小平センター発電所	32
	エコメツ発電所1号館	11
	こだいソーラー市民発電所「やまびこ」・「未来」(2ヶ所)	23
	東村山市民発電所めぐる	25
	町田市民電力太陽光発電所第1号機	15
神奈川県		
	生活クラブソーラーあやせ総合センター発電所	54
	生活クラブソーラー小田原センター発電所	14
	生活クラブソーラーラポール三ツ沢発電所	31
太陽光	生活クラブソーラーちがさきデポ発電所	27
	福祉クラブ きらり港北発電所	16
	福祉クラブ 藤沢センター発電所	20
	大磯エネソフト みんなの発電所「ハル」・「ソラ」(2ヶ所)	29
	原発ゼロ市民共同かわさき発電所「1号機」・「2号機」(2ヶ所)	37
埼玉県		
	生活クラブ飯能デリバリーセンター発電所	770
	生活クラブ秩山センター発電所	52
太陽光	生活クラブ所沢センター発電所	38
	生活クラブ熊谷センター発電所	39
	生活クラブ越谷センター発電所	38
	生活クラブ大宮センター発電所	104
千葉県		
太陽光	生活クラブソーラー市原センター発電所	54
	生活クラブ風の村 サポートハウス流山発電所	14
風力	うなみ市民風力発電所「かざみ」	1,500
愛知県		
太陽光	田んぼ電気プロジェクト 音羽米発電所1号~8号(8ヶ所)	361
京都府		
太陽光	生活クラブ京都エル・コブ 東センター発電所	32
大阪府		
太陽光	生活クラブ大阪 市民共同発電所(平野支所)	10
	岸和田デリバリーセンター(関西6単協)	94
東北エリア		
小水力	小水力発電所	
バイオマス	木質バイオマス発電所	
東京エリア		
バイオマス	木質バイオマス発電所	
中国エリア		
バイオマス	木質バイオマス発電所	



[風力発電]



[太陽光発電]



[バイオマス発電]



[小水力発電]



子どもたちの、またその子どもたちへ。
電気の共同購入から始まる原発のない未来。
わたしたちは、自然エネルギー**100%**をめざします。

生活クラブは、原材料や生産方法が明らかな「食べもの(Food)」を手にするために
食材の共同購入をはじめました。

また、地域に根ざした「福祉(Care)」が必要と考え、組合員どうしのたすけあいや子育て、

介護の支援活動を行っています。そして新たに「エネルギー(Energy)」を

自給する暮らしと地域づくりをめざして、電気の共同購入をはじめます。

生活クラブの電気は近い将来、[風力][太陽光][バイオマス]を中心に

自然エネルギー**100%**をめざしています。

あなたも生活クラブの電気の共同購入に参加し、みんなの買うチカラを集めることで

自然エネルギーを広めて、原発のない未来を子どもたちに手渡ししましょう。



<https://scenergy.co.jp/>